

第526回 難研セミナー

第99回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時：平成26年 12月 4日（木） 17:30～18:30

場 所：M&D タワー21 階 大学院講義室1

演 者：鈴木 啓一郎 先生（ソーク研究所）

演 題：ゲノム編集技術を用いたヒト疾患モデル iPS 細胞の作製

要 旨：体細胞に複数の遺伝子（山中 4 因子）を導入することにより誘導されるヒト人工多能性幹（iPS）細胞は、体内のあらゆる細胞に分化できる多能性を保ちつつ、無限に増殖させる事ができる多能性幹細胞である。このため、疾患患者の体細胞から iPS 細胞を樹立することで、患者由来の病変細胞を大量に分化誘導できるようになり、疾患メカニズムの解明や創薬スクリーニングへの利用が期待されている。しかし実際には、遺伝的背景の違いによる影響が大きく、例え親子由来の細胞であっても別個体間での比較が難しいなどの理由から、厳密な比較対照がなく、研究が遅れているのが現状であった。本セミナーでは、最新のゲノム編集技術を用いて遺伝的背景の同一なヒト疾患モデル iPS 細胞を作製する事で可能となった、パーキンソン病やファンコニ貧血症など様々な遺伝性疾患の発症機序の解明について紹介する。

参考文献：*Cell Stem Cell* (2014)；*Nat Commun* (2014)；*Nature* (2012)；*Cell Stem Cell* (2011)；*Cell Res* (2011)；

連絡先：分子神経科学分野・相田知海（内線 5864）

共催：神経病理学分野・岡澤均（内線 5847）